

# らいふ通信 ぶちらいふ

ホームページ  
http://lifsea.co.jp  
ぶちらいふ編集室ブログ  
http://lifsea.jugem.jp  
らいふ日記(スタッフブログ)  
green.ap.teacup.com/lifekaigo

2011春 Vol.23



「息子一家と2世帯で住んで  
はいても、歩行器で何とか家  
の中を歩きながらヘルパーさ  
んの力を借りて独り暮らしを  
頑張っていた92歳の父が、めま  
いと嘔吐で入院し在宅生活が  
困難になったのが平成22年6  
月。歩けない、食べれない、家  
では介護の手がない。老人病  
院や有料ホームも検討しまし  
たが、家に近く若いころ務め  
ていた工場の近くということ  
で父も「らいふ神明」さんに行  
くことを承知してくれ、週末  
は家に帰るとい生活が始ま  
りました。胃がんを持っていた  
ので終末をどう過ごすかとい  
う問題が私達子どもたちに  
課せられていました。年齢的  
に治療はせず自然に逝かせた  
いと思っていた私達の気持ち  
をらいふ神明さんが受け止め  
てくれ自宅の代わりをしてく  
れました。

在宅診療の先生と家族の  
代わりに介護と看護を自然  
体で行ってくれた職員の皆様

告知を  
して  
なかつた  
ので、先  
生や施  
設を信頼  
できず不  
満ばかり  
で、皆様  
にお礼の言葉  
を言  
えず12月に旅立った父に替わ  
り厚くお礼申し上げます。人  
生の最後をどこで過ごすかは  
皆共通の問題です。家で死に



お亡くなりになる直前にお  
習字を楽しまれていました。



定年後始めた書道。自分の  
作品の前で記念撮影。

ク  
の松木先生はじめ、看護  
師の方々など皆様にサポー  
トを受けながら、最期の場  
面を迎える事が出来まし  
た。大切な大切な最期の時

現在、永井様のご紹介で「オ  
カリナ」「三味線」のボラン  
ティアさんに毎月お越しいた  
だいています。  
地域とのつながりを感じさせ  
て頂き、私達もたくさんの方  
を学ばせていただきました。  
そして、今年3月31日(木)  
ご家族の方が囲む中、お二人  
目となるお看取りを行わせて  
いただきました。

らいふ神明 野間康彰  
援、藤  
沢本町  
ファミ  
リークリニッ  
クの方など皆様にサポー  
トを受けながら、最期の場  
面を迎える事が出来まし  
た。大切な大切な最期の時



## 小規模多機能型居宅介護 らいふ神明でお看取り

2010年12月15日、小規模多機能型居宅介護

「らいふ神明」にて伊下良雄様のお看取りを行わせて頂きました。  
その後、ご息女から何かの発行物に掲載する事があれば、と  
お手紙をお預かりしましたので、皆様にお伝えさせて頂きます。

## 編後記

3月11日に発生した東日本大震災  
では多くの尊い命が失われ、福島  
原発事故による更なる被害も重なり、避難生活を余儀なくされてい  
る被災地の状況に誰しも心を痛め  
ていらっしゃる事と思います。  
この日は神奈川県内も停電や公共交通機関の運休  
で、余震の続く中、介護の必要な方を抱えるご家族、高齢者世帯のお宅は本当に大変だったと思  
います。茅ヶ崎の海岸近くに位置する「らいふ柳  
島」も大津波警報が発令され、翌早朝まで緊張が  
走りました。  
リフシアは12日に予定していた介護セミナーが延  
期になりましたが、サービスはご家族の協力をい  
ただき休むことなく運営することができました。  
計画停電、ガソリン不足、流通状況悪化からくる  
食料調達困難など、次から次に解決しなければなら  
ない問題に振り回されましたが、4月に入って  
ようやく通常の生活にもどりつつあります。



懐中電灯や電池が足りないため、停電  
に備えてろうそくを作成中。材料は家  
庭用油と固めるテンブル。夜間の停電  
ではロマンティックなムードでしたが  
火事に気をつけなければなりません。

一方で被災地の復興は大変厳しく、新潟の認知症  
の女性が避難所を転々とする中、道に迷って凍死  
されたことや、高齢者や障がい者の置かれている  
状況、不眠不休でお互いを支え合う被災地の情報  
が伝わるにつれ、「私たちも何か出来る事をしな  
ければ」と強く思うところです。  
そこで私たちは、急遽町内会や民生委員さんに声  
をかけ、「らいふ萩園」(4月24日)、「らいふ  
神明」(4月29日)の2か所で開催を行いました。節電は当然のことですが、バザーを  
開いて義援金を寄付することは私たちにできる地  
道な取り組みかも知れないと考えたからです。  
どうぞ皆さま、バザーにいらしてください。

## 湘南つれづれ 8 開高健生誕八十周年



開高健記念館と  
パンフレット

晩年を茅ヶ崎で暮らし  
た作家の開高健の生誕  
八十年を記念した多彩  
なイベントが昨年から  
今年にかけて市内各地  
で繰り広げられた。開  
高氏は多方面で活躍した  
ので、時代を追って足跡  
をたどってみよう。

昭和32年『裸の王  
様』で芥川賞を受賞  
して、作家としてデ  
ビューしたが、第一期  
の昭和三十年代、彼が  
洋酒の宣伝マンとして  
活躍し、アンクルトリス  
の画に添えて書いた数多  
くのコミーション・コピ  
ーは今でも懐かしい。  
代表作のひとつ。  
「人間」らしく／やり  
たいナ／トリスを飲ん  
で／「人間」らしく／  
やりたいナ／人間なん  
だから  
活躍した第二期は昭和  
39年ベトナム戦争の取

材のため現地に赴い  
た。戦場でベトナムに  
包囲され、九死に一生  
を得て脱出した。その  
後、彼の平和への思い  
はベ平連運動に繋がっ  
ていった。  
第三期は昭和49年、茅  
ヶ崎のラチェン通りの  
先の元パシフィックホ  
テルの近くに引越して  
来た頃から始まった。  
59年という必ずしも長  
くない生涯の晩年の15  
年をここ茅ヶ崎で過ご  
した。この時期は、釣  
りや酒や食文化といっ  
た人間本来の欲求の探

求の旅でもあった。  
死後、その住居は記念  
館となり、地元住民  
だけでなく、全国の開  
高ファンのおアシスと  
なった。  
彼は色々な肖像を持っ  
た人だったし、多く箴  
言を残したが、今の私  
の胸に一番響くのが次  
の言葉である。  
『悠々として急げ』  
私にも残された時間は余  
り多くはないと思うが、  
慌てて転ぶことのないよ  
うに、毎日をしつかりと  
前を向いて生きようと思  
っている。(井)

## お知らせ 東日本大震災応援「らいふバザー」開催

らいふ萩園バザー 4月24日10時～15時  
駐車場にて(雨天は施設内にて決行)  
らいふ神明バザー 4月29日10時～14時  
駐車場にて

らいふ通信「ぶちらいふ」春号Vol.23  
2011年4月15日(季刊発行)  
編集/ぶちらいふ編集室  
〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1  
TEL0467-55-5102 FAX0467-55-5103  
発行/株式会社リフシア

lifsea  
株式会社リフシア

らいふ萩園 デイサービス(認知症対応型・一般型) TEL0467-89-5277  
らいふ萩園 居宅介護支援センター TEL0467-89-5277  
らいふ松林 小規模多機能型居宅介護 TEL0467-54-8591  
らいふ神明 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL0466-21-7893  
らいふ柳島 小規模多機能型居宅介護 TEL0467-84-1220  
らいふ香川 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL0467-55-2110



牧野所長

地域の皆様よろしくお願いたします。  
「らいふ香川」でわたしたちの  
新しい生活がはじまりました。

茅ヶ崎市香川駅の近くにリフシアの  
新しい事業所「らいふ香川」がオープンしました。  
編集部はオープン直前の内覧会（3月18・19・20日）と  
開設したばかりの「らいふ香川」取材してきました。



茅ヶ崎市内で5番目となる小規模多機能型居宅介護は、登録する25人の方たちが通い・訪問・泊まりのサービスを組みわせて在宅生活を続ける新しい介護の形です。そこに、認知症の高齢者が共同で生活するグループホームが併設された事業所が「らいふ香川」です。



計画停電中のなか内覧会を行ったらいふ香川は、自然光でも十分明るい日差しがさし込んでいました。（写真は停電中に撮影したものです）。また、あわせてソーラーパネルも設置されているので安心です。



4月1日から嚥下困難な方が利用されるので、介護食の研修も行ったそうです。  
グループホームは内覧会と同時に満床となり、小規模多機能を利用しながら待機する方も出ているそうです。沢山のご家族が入居の準備をされています。  
いま働くご家族の相談が多い小規模多機能はオープン初日から11名が登録されました。  
スタッフとお客様の絆はこれから様々なドラマを経て深まってくると思います。折に触れ、ふちらいふでご紹介したいと思しますのでご期待ください。



グループホームのウッドデッキから中庭と、小規模多機能型居宅介護の施設を望む



グループホームのお昼を皆さんで支度しているところ



グループホームの各階にある家庭用の台所

..... 厨房スタッフ奮闘中です.....



今日のお昼はビーフストロガノフ  
スタッフも「おいしい！」と思わず笑顔



内覧会の最終日に厨房さんの手料理で打ち上げをしました

黒岩先生考案のクルリーナ歯ブラシの使い方を教わっているところ

黒岩恭子先生を講師に  
口腔ケアの勉強会を開催  
3月8日 於：らいふ香川



「らいふ香川」では、ケアワーカー、看護師、厨房スタッフが参加し、口腔ケアの勉強会を行いました。講師は、第3回介護セミナーの講師をお願いした、村田歯科医院（茅ヶ崎市）院長黒岩恭子先生です。研修は、オブラートを口に含んでクラッカーをほおぼることで口腔乾燥した高齢者の体験をしたり、感染症、誤嚥性肺炎、脱水症の予防について、口から食べることで運動や感覚を司る脳を活性化することなどケアの大きな役割を学びました。参加者から口腔乾燥した状態では食欲が低下する恐れがある、口腔ケアや食事介助の姿勢も咽につながるなど理解できたなどの声を聞きました。厨房スタッフも自分たちの仕事が食事を作るにとどまらない介護の役割を担っていることを学ぶ意義のある研修になりました。



DVDを見ながら説明を受けているところ

介護セミナー延期のお詫び

3月12日に第4回介護セミナー“ターミナルケアについて”（講師：鳥海先生）を予定していましたが震災の影響で延期になりました。状況が落ち着き、鳥海先生のご都合を確認しながら必ず開催したいと考えております。皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。決まりましたら、ふちらいふでお知らせしますので宜しくお願いします。

(株)リフシア事業企画部